

トピックス ①

アメリカ小児泌尿器科学会で リモート発表 ～狭き門を通過し、学会発表～

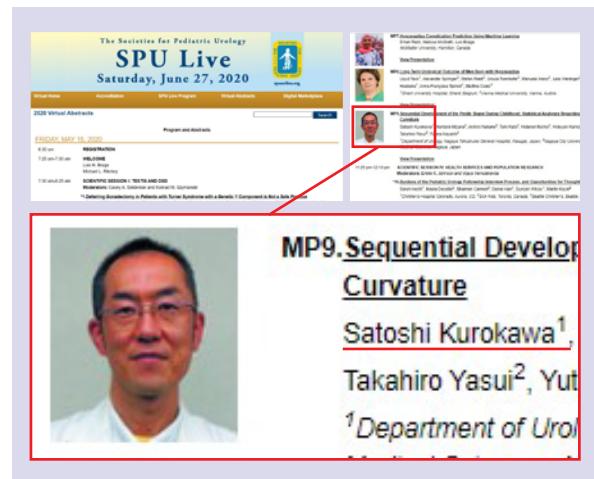
2020年6月27日(土)、アメリカ泌尿器科学会の分科会(小児泌尿器科学会)において、インターネットでリモート発表させていただきました。アメリカ泌尿器科学会は、世界で最も演題採択率が低く、発表自体が困難な学会です。例年5月に開催されているのですが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係で延期され、インターネットでのリモート発表となりました。

私は「Sequential development of the penile shape during childhood: statistical analyses regarding phimosis and penile curvature.」という演題で発表させていただきました。新生児から学童まで、陰茎の発育について1,200名以上

のデータをまとめた内容です。包茎や曲がり具合など病気なのかどうなのか分かりづらい内容を詳細にまとめたことが評価されました。

普段の診療は、がんや排尿障害など大半が成人を対象としたものですが、小児の患者さんにも対応しています。今後も地域の患者さんのニーズに幅広く応えられるよう努めてまいります。

泌尿器科部長 黒川覚史



▲学会ホームページで発表を見るることができます